



生活協同組合パルシステム神奈川 雇用事例紹介



✓ 現在の職員が退職、どうすれば…？

生活協同組合パルシステム神奈川では、2030年ビジョンのテーマを「だれもが認めあい、ともにいきる地域づくり」とし、「パートナーシップの力で、だれもが多様性を認めあう地域社会をつくり、生命（いのち）と未来を守っていきます。」の実現に向けて取り組んでいます。

宮前センターで長く就労していた職員が、慢性の腰痛が悪化して、就労が困難な状況でした。雇用者の勤続年数が長く、退職者がいなかったため、今の人事部には障害者の採用方法が全くわかりません。そのときに、企業応援センターかわさき（以下：応援センター）を紹介いただきました。

☝ 見学会の実施、根気よく。

2019年7月に、応援センターの職員の方に、宮前センターでの業務を見ていただきました。募集予定の業務は決まっています。求人募集方法について、いくつかの手段をメリット・デメリットと共にご提案いただきました。

私たちが心配していることのひとつに、災害などが発生したときの対応方法でした。障害の特性によっては、対処しきれないので、という不安があったので、応援センターから資料やアドバイスをいただきました。

そして、ハローワーク港北の雇用指導官をご紹介いただき、

助成金やトライアル雇用の説明、を教えてもらいました。

これと並行して、川崎市内の援助センターの就労支援員に向けての見学会を行いました。初めての見学会は宮前センターで、就労支援担当者からの説明のあと、就労希望者に対しての見学会を行いました。しかし、そこでは皆さんが辞退となりました。

今度は川崎市内で、宮前センターから近隣の障害者就労移行支援事業所へ、求人案内をだしてもらい、複数の支援機関からの見学や職場体験実習の申し込みをいただきました。

就労者より

入協前に、職場見学に参加しました。仕事の指示を出してくれる、就労支援担当の方がいて、安心して働くことができる職場だと思いました。

新型コロナウイルス感染症で、職場体験実習がずいぶん遅くなりましたが、参加して、宮前センターで働くイメージがつかえました。

入協後は、人事部の方と、就労支援担当者の方、就労支援機関の支援員と定期的に面談をする機会があり、仕事の進め方や体調面や課題の話をしています。

皆さんの支えがあって、働くことができます。ありがとうございます。



📌 職場体験実習から雇用、就労。

職場体験実習を数名が終わった頃に、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発出されました。当組合では、外部の方からの訪問を制限せざるをえませんでした。実習の中断は心苦しく、解除の見通しはつきません。応援センターへは随時、状況をお知らせし、実習を行った方やこれから行う予定の方に対して、支援機関を通じて、

当組合の現状を説明していただくようお願いしました。雇用準備が整ったのが、初めの職場体験実習者から4か月後でした。職場体験実習を受けていなかった数名の方の実習を行いました。

9月には採用面接を実施し、1名入協しました。

応援センターには、各箇所への調整を行っていただきました。自分たちで

はやりきれなかったと思います。

現在、就労している方については、障害者就労移行支援事業所の支援員と適宜連絡を取っています。宮前センターのジョブコーチに任せっきりにすることなく、人事部も随時、宮前センターに訪問して、就労している様子を見学し、一緒に働きやすい環境づくりを行っています。

当組合で雇用者が高齢化してきて、新たな配慮事項が生じ、また退職した後の雇用を検討する時期が近づいてきました。これからは障害者を雇う際に、障害の特性を問わず、誰からも働きやすい職場づくりを心がけていく必要があります。



採用担当者様より

企業応援センターかわさき

川崎市障害者等雇用推進・就労援助事業（川崎市委託事業）



みんなですすめましょう 障害者雇用

川崎市から委託を受けた企業の障害者雇用をサポートする機関です。

雇用相談



- 障害者雇用を考えている企業様、既に障害者を雇用している企業様からのご相談を承ります。
- 障害者雇用を進めることで、新たな人材の確保につながるようサポートします。
- まずはお気軽にご相談ください。相談費用は無料です。

川崎市障害者雇用促進ネットワーク会議企画・運営



- 川崎市健康福祉局障害保健福祉部 障害者社会参加・就労支援課 が定期的に開催するネットワーク会議の企画及び運営を行っています。
- 企業の皆様と障害者就労支援機関及び行政が一体となって、障害者雇用という視点から、地域の活性化のため学習会や情報の共有を図っています。

短時間雇用プロジェクトの運営



- 川崎市が平成28年から実施している「短時間雇用プロジェクト」の運営を行っています。
- 当センターと市内の就労支援機関が、働きたい方と企業様のニーズをマッチングする事業です。
- ご興味のある企業様がございましたら、ご相談ください。

就労体験



- NPO法人ピープルデザイン研究所様と協力し、市内の就労支援機関などで支援を受けている方への就労体験の機会提供にむけた準備・運営をサポートしています。川崎フロンターレや川崎ブレイブサンダースといった川崎市を拠点とするプロスポーツチームの試合前の準備、イベントでの設営などを、ボランティアの皆様と一緒に障害者がお手伝いをしています。

【窓口開所時間】

平日 9:30～17:30

原則 土曜日・日曜日・祝日・年末年始は休み

【住所】

〒210-0001

住所：川崎市川崎区本町2-8-14松永ビル802号室

電話：044-589-8231/FAX：044-589-8236

E-Mail：kigyou-ouyen@tomoni.or.jp

ホームページ：https://www.kigyououyen-kawasaki.online/

JR線、京急線 川崎駅から徒歩10分 旧東海道 本町1丁目交差点の先です。

